



しんぼうさいどう 心房細動について



心臓は、心房と心室が1対1で交互に収縮することにより、血液を押し出すポンプの働きをしています。安静時には、心房と心室は1分間に70回くらいで規則正しく収縮しています。心房細動という不整脈になると、心房は1分間に300~600回（電氣的に）収縮しますが、実際には心房壁が震えているだけで有効なポンプの働きはしていません。心房内の血流が悪くなるため、心房内に血栓ができやすくなり、脳梗塞などの血栓症の原因となります。心房細動になると心臓のポンプの働きが10%程度低下します。

◎原因

心房に負担がかかる病気が原因になります。

- ・高年齢者 ・肥満 ・高血圧症 ・糖尿病 ・心臓弁膜症
- ・心臓肥大 ・心筋梗塞 ・甲状腺機能亢進症（バセドウ病）
- ・睡眠時無呼吸症候群 ・飲酒 ・ストレス ・過労など



◎症状

正常の脈の人が急に心房細動になると、脈が完全に不規則で速くなるため、動悸、胸痛、血圧低下、ふらつき、冷汗などが認められます。無症状の方もいます。

元々心臓病のある人に心房細動が発生すると、心不全になることがあります。心臓内の血栓が飛ぶと、太い動脈が詰まり重症の脳梗塞が発生します。心房細動が停止して正常な脈に戻る時に、まれに数秒間心臓が停止する場合があります、失神を起こすことがあります。



◎検査

心電図検査で診断できますが、病院受診時に正常になっている場合は、ホルター心電図やループ心電計（いずれも24時間以上の心電図）で見つかることがあります。最近ではスマートウォッチで見つかることがあります。

心臓超音波検査にて、心臓に病気がないか、心臓の働きは悪くないか、心臓内に血栓ができていないかなどを調べます。



◎治療

- ・心房内血栓を予防するために抗凝固薬（いわゆる血液サラサラにする薬）を使用します。
- ・脈が速くなっている場合は、脈拍数を落ち着かせる薬を使用します。
- ・正常な脈に戻す薬を使用します。
- ・カテーテルアブレーション~カテーテルを使い、心房細動が発生している場所（左心房内の肺静脈）を電気で焼いたり、凍らせることにより、心房細動が出ないようにします。事前に心臓のCTや経食道エコー（胃カメラの様なエコーで心房内血栓がないか調べる）を行ったうえで、4日間前後の入院が必要です。成功率は70~80%程度です。
- ・心房細動が停止する時に心停止が起きる場合は、ペースメーカー植込を行うことがあります。

*胸部症状があり受診する際には、受付で症状をお伝えください。

副所長 久保 浩秀



《出前講座を実施しました》



毎週火曜やすらぎ館で開催されている百歳体操の会場を訪問し、訪問診療や訪問看護、血圧の測定の方法について説明しました。今後は、各地区へ伺う予定です。



《職員紹介》



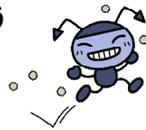
診療放射線技師 山口綾菜

6月から一般撮影、CT、骨密度の検査を行っています。地域の方々が安心して検査が受けられるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いします。



◎食中毒予防の5つの基本ポイント

1. 手洗いを徹底する
2. 食材はしっかり洗う・新鮮な物を使う
3. 加熱調理は中心部までしっかり
4. 調理器具や手をこまめに洗浄・消毒
5. 食品の保存温度を管理する



高温多湿になる6～9月は、細菌が繁殖しやすいため特に注意が必要です。

< 日向市立東郷診療所 診療案内 >

■診療時間 [午前] 8時30分～12時00分 [午後] 1時30分～5時00分
 ■受付時間 午前7時から午後4時半まで

※初めて受診される方は、午前は11時まで、午後は4時までに受付をお願いします。
 ※発熱や風邪症状のある方は、午前8時15分からの電話予約になります。
 ※健(検)診、予防接種等の希望がある方は事前に電話連絡をお願いします。

令和7年6月20日現在

月	火	水	木	金
6/30 整形休診(終日)	7/1 整形休診(終日)	2 通常診療	3 通常診療	4 通常診療
7 通常診療	8 通常診療	9 通常診療	10 通常診療	11 内科休診(終日)
14 通常診療	15 通常診療	16 整形休診(午後)	17 通常診療	18 整形休診(終日)
21(祝日) 休診	22 通常診療	23 通常診療	24 通常診療	25 通常診療
28 通常診療	29 通常診療	30 通常診療	31 通常診療	8/1 通常診療